

受付

-7.5.15

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社ふれあい広場	代表者	関口 浅次	法人・事業所の特徴	住み慣れた環境を大切にし在宅での生活が継続できるよう「通い」「宿泊」「訪問」サービスを柔軟に取り入れサービスを提供している。また、急な宿泊や利用の變更などにも迅速に対応を行っている。レクリエーションは個々の個性や意欲を見い出せるよう個別での対応も行い、季節ごとの行事など利用者様やスタッフが一緒に楽しみ、喜びを感じながら活動を行っている。年2回の「ふれあいだより」を発行しており、日々の様子やお知らせなど、ホーム内の様子をわかりやすく掲載し、ご家族様との情報交換を行っている。スタッフ間の情報を共有するため定期的にスタッフ会議等で話し合いよりよい支援ができるようサービスの質の向上に努めている。グループホームとの交流も多くあり、ご本人が自宅での生活が難しくなっても環境が変わらず安心して入居できるようなバックアップ体制をとっている。
事業所名	ふれあい多居夢希	管理者	砂井 昌子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	3人	1人	1人	1人	人	1人	人	人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	個々の利用者ニーズに対応できるよう体制を整備する。ご利用者やご家族から相談対応に迅速かつ真摯に向き合いなんでも相談して頂けるホームの姿勢を継続する。	個々のニーズに合ったサービス提供の為に適宜介護計画の見直しを実施した。家族にも随時相談に乗り、より良い支援となるように努めた。初期支援に関して家族と介護スタッフが直接関わることが出来ないため適切な初期の利用者・家族の状況の共有を全職員が共通認識でできるようにすることが今後の課題。	利用者の事をスタッフがそれぞれの目線で、多角的に見る事ができていて良いと思う。よく話を聞いたり見てくれていると感じている。	利用者の自宅での生活環境・以前の暮らし方について発症経過シートの活用し・アセスメント表やケアプランの情報の共有し、全職員が理解・把握する。利用者・家族の意向を取り入れたケアプランに沿った個々のニーズに合ったサービス提供を行う
B. 事業所のしつらえ・環境	整理整頓を前提に衛生的な環境を維持する。五感に心地よく過ごせる工夫を居心地のよい空間を提供する。引き続き感染予防対策に努める。	感染症対策を実施しながら様々な活動を少しずつ再開できている。引き続き、事業所内の環境整備に努め、地域の方が気軽に入れるような雰囲気づくりに努める。	施設の良さをアピール出来るよう、開けた雰囲気・環境づくりを期待している。	地域の方が気軽に入れるような環境整備・スタッフの対応に努める。必要な感染症対策の継続。
C. 事業所と地域のかかわり	地域行事の参加を増やしご利用者と共に地域社会の一員として貢献する。定期的にホームの活動状況やご利用者のご様子がわかるように広報便りを発行する。	運営推進会議を通じて地域との情報交換はできていた。施設での地域交流、オレンジカフェに関しては感染症の問題や人員・スペースの問題から実施できていない。	感染症対策等を鑑みながら、地域と交流・行事参加をしてもらいたい。	地域交流（いもっこ体操、地域行事への参加・ボランティアの受け入れ等）を行い、利用者の社会参加への意欲向上の支援・事業所と地域との関わりが継続できるよ

				うに努める。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを支える取組み	地域資源を活用し協力を得ながらご利用者が安心してご自宅での暮らしを中心に介護サービスと地域に支えられ安全な暮らしを継続できるよう支援する。	近隣への散歩・町内の祭り・ケアマネ勉強会への参加ができた。地域ケア会議等があれば参加を予定している。	可能な範囲で地域のイベント等に参加をしてもらいたい。	地域の交流会等に積極的に参加し、地域と一体となって利用者の暮らしを支え、社会参加を促し、活動できる機会を増やしていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	オレンジカフェを創設し気軽にいつでも相談できる場所を提供する。民生委員や自治会、包括支援センターの協力を得つつ地域住民やご高齢を支える仕組みを創り運営推進会議にて情報を共有していく。	オレンジカフェなど地域交流は自施設では感染症での環境面や人員面で出来なかった。隔月開催は出来ている。引き続き、会議内で活動報告や地域交流の参加報告、避難訓練参加のお知らせを実施する	運営推進会議の内容で、事業所の取り組みが良く分る。是非他の家族にも参加をして欲しい。	引き続き運営推進会議を通じて地域との情報交換・地域の意見を事業所の活動に活かす。施設での地域交流の場を設け、地域との連携を深めていく。
F. 事業所の 防災・災害対策	事業所内での自衛消防総合防災訓練を定期的を実施する他に地域で行われる防災訓練にも感染予防対策を行いつつ積極的に参加をする。BCP（業務継続計画）策定をし、万が一に備え、それに活かした取り組みを実施する	消防避難訓練、災害 BCP の机上研修をグループホームと協働で行った。	準備が出来ていれば落ち着いて行動する事ができる。災害を想定した訓練を実施出来ている。有事の際は、自治会も協力・連携していく。	引き続きグループホームと協働で、消防避難訓練・災害 BCP の机上研修を行う。消防訓練を自治会等に事前に周知し、地域の方にも参加してもらう。